

講習の区分	<選択領域講習>受講者が任意に選択して受講する領域		講習時間数	6 時間
講習の名称	【選択】長崎の歴史と文化の理解		講習形態	講義
開設者	長崎純心大学		定員	60名
開設日/時間	令和3年8月7日(土) / 8:55~16:20		会場	長崎純心大学(長崎市三ツ山町)S310
履修認定対象職種	教諭	主な受講対象者	小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭	

担当教員(講習代表者) / Eメールアドレス/TEL

担当教員： 滝澤修身（人文学部）

担当教員(分担担当者等)宮坂正英(客員教授)

講習のねらい/講習方法/講習到達目標

講習のねらい：

(滝澤担当) 長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産は、2018年に正式にユネスコの世界遺産として登録された。昨今、旧県庁所在地にあった「岬の教会」も注目が注がれている。これらの事柄は、長崎の学校教育にも反映されるのが好ましい。長崎のキリシタン史を学ぶことを通じ、この町の歴史・文化を考え直したい。

(宮坂担当) 江戸時代の日本の対外交渉は、厳しい統制化におかれたため、西洋文化の受容、さらに西洋人の日本文化理解は、主として長崎を通じて行われた。日本人が、西洋文化・科学・技術の習得のため長崎を訪れている。長崎での西洋文化の受容を辿ることで、長崎の歴史・文化をより深く理解してもらう。

講習方法：

(滝澤担当) 講義形式-レジュメと資料のプリントを配布する。理解を助けるために、教会建設等VTRを用いて説明する。

(宮坂担当) 講義形式-授業に必要な資料は印刷して配布する。

講習到達目標：

16世紀以降の長崎の歴史と文化の特色を、世界との関わりの中で理解し、文化遺産等の正しい説明と評価ができるようになること、長崎の歴史・文化をより深く理解することを目的とする。

講習内容(概要) / 講習計画(時間毎の講習内容を含む) / キーワード

講習内容(概要) :

日蘭交流や長崎のキリスト教の歴史、文化をたどり、長崎の郷土史を学ぶことにより、その知識を学校での社会や歴史の授業に活かすことを目的とする。地域(長崎)について文化遺産の側面から理解を深めるため、社会科教諭以外も対象とする。

講習計画・内容：

内容等	時間	担当教員
オリエンテーション	8:55~9:00(5分)	滝澤修身
南蛮文化-屏風に描かれた教会堂を中心に	9:00~10:20(80分)	滝澤修身
長崎の教会の在り方と潜伏キリシタンの様相	10:30~11:50(80分)	滝澤修身
昼休憩	11:50~12:40(50分)	
「鎖国」と長崎の西洋文化	12:40~14:00(80分)	宮坂正英
シーポルトと長崎	14:10~15:30(80分)	宮坂正英
筆記試験	15:40~16:20(40分)	宮坂正英

キーワード： (長崎) (キリスト教) (教会群) (世界遺産) (蘭学) (鎖国)

成績評価の方法	筆記試験の成績結果によって評価します。
成績評価の基準	成績評価は、到達目標達成点を100点とし、総合点で60点以上を合格とします。
履修認定の方法	成績評価の総合点で合格点に達した受講者に対して履修認定します。
教科書・教材・参考書	当日、レジュメと資料プリントを配布します。
各自で準備するもの	なし
受講上の注意	1. 「講習の名称」が同じものは1度しか受講できません。 2. 視聴障害や聴覚障害などのため、受講に際して特別な配慮が必要な方は、受講申込前に事務局へお問合せ下さい。 3. 遅刻は原則として認めません。